



希望の丘



- ◇ 学校教育目標 長沼の伝統を継承し、先人から学び、地域に尽力できる生徒
(小中共通目標) 高い見識もち、主体的に学びに向かう生徒
社会を創造して、多様な人たちと相互理解できる生徒

- ◇ 長沼町小中一貫教育重点テーマ「一人一人の学びをしっかりと支え、誰一人取り残すことのない教育の実現」
＜ 発行者：長沼町立長沼中学校長 渡辺 禎 学校ℓ (0123) 88-2567 ＞

小中一貫教育実施元年！

校長 渡辺 禎

本校の令和4年度が始動して約1ヶ月、新入生87名を含めた全校生徒255名が11学級(特支3学級含)に分かれ、教職員34名のもとで順調な滑り出しを見せています。保護者・地域の皆様におかれましては、コロナ禍や世界情勢などの影響により、依然として先の見えない時世ではありますが、ふるさとの未来を支える子どもの健やかな成長を目指して、地域総がかりで子どもの成長を支えたいと考えております。どうか1年よろしくお願いいたします。

今月号に令和4年度の「長沼中グランドデザイン」を掲載いたしました。これは、学校教育目標の具現化に向けた学校運営の概要版であり、全体の基本方針や指導の在り方、さらには重点事項を明確にするために作成したものです。ちなみに、昨年度末には保護者・地域等の代表者で組織する「長沼町学校運営協議会(コミュニティスクール)」においてご承認をいただいております。この度多くの皆様にお伝えしたいと考え、お示した次第です。お目通しいただいた後、より良い学校運営、学びの質の向上におかけ、ご助言等をいただければ幸いです。

この4月、長沼町の義務教育が小中一貫教育で取り組まれることが正式に宣言されました。これは、指導にあたる小中学校の教職員が学校間の垣根を越え、義務教育9年間の学びを支え・つなぎ・活かすことで、目指す児童・生徒像を実現させる教育実践です。長沼町教育行政執行方針では、「一人一人の学びをしっかりと支え、誰一人取り残すことのない教育」という重点テーマが示されており、互いの校舎が離れている実情から、「施設分離型小中一貫教育」による教育活動を展開し、その実現に向かうこととなります。(小中一貫教育には、他に施設一体型や施設併設型、義務教育学校などがあります)

具体的には、小中相互の出前授業、学習の決まりの統一化、9教科の単元系統表を活用した指導の重点化、小中合同の研修体制による授業改善等が挙げられます。また、本町独自の「ふるさと長沼学」の教育課程づくりやピア・サポート活動を導入し、いじめ根絶の取組を強化します。

その他にも、ICT教育の推進、作品や音楽発表等の文化交流、児童会・生徒会の共同活動、生徒指導や特別支援教育の情報交流、健康の保持増進に関わる活動の充実等、小中の協働体制による教育活動をより活性化させ、保護者・地域に信頼される学校づくりに邁進します。

未だ収まらぬコロナ禍ですが、行事が続くこの時期を何とか乗り切る目途が立ちました。これには、感染対策に誠実に取り組む生徒を評価するとともに、保護者・地域の皆様による本校のコロナ対策方針へのご理解やご協力のお陰と心から感謝している次第です。

なお、先に全校配布した行事日程変更の文書のとおり、大型連休明けに実施を予定していた2学年宿泊学習と1学年札幌自主研修を7月中旬に変更いたします。また、5月下旬に予定している学年別体育大会は有観客で行なうことを決めておりますが、詳細は後日改めてお知らせいたします。今後も感染情報などに留意し、その時々での慎重な判断のもとで進めて参ります。これからもご心配や不便をおかけすることとなりますが、何卒ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、この4月を本校に着任した教職員(9名)を紹介します。

※カッコ内は、前任校・所属学年・担当教科・部活動の説明です。
以上、よろしくお願いいたします。

＜北海道教育の基本理念＞
 「自立」：自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神に溢れ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
 「共生」：ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

＜長沼町小中一貫教育の重点テーマ＞
 一人一人の学びをしっかり支え、
 誰一人取り残すことのない教育の実現
 （長沼町教育行政執行方針より）

＜長沼町総合振興計画（前期）＞
 ～義務教育の充実～
 ・社会で活きる実践的な力の育成
 ・豊かな心と健やかな体の育成
 ・学びをつなぐ学校づくりの実現

＜空知管内教育推進の重点＞
 ～協働・共育・共生による学びの質の向上～

＜保護者・地域の願い＞長沼町CS
 郷土愛・社会性・根気強さ・挑戦心
 思いやり・責任感・コミュニケーション力

【学校教育目標】 = 目指す生徒像

- ◇ 長沼の伝統を継承し、先人から学び、地域に尽力できる生徒（ふるさとから学ぶ、地域貢献）
- ◇ 高い見識もち、主体的に学びに向かう生徒（学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力）
- ◇ 社会を創造して、多様な人たちと相互理解できる生徒（文化や価値観を受容・共感できる能力）

長沼町が将来も持続可能な社会であるために、学校・家庭・地域が10年先を見通して、協働・共育・共生する人材育成(小中共通)

【本年度の学校経営重点目標】
「自立と共生」&「コミュニケーション」
 認め合い・支え合い・磨き合い・分かち合う学校の創造



＜目標実現に向けて・・・その1＞

- ◇ 「情と理」を基盤に・・・
- ・生徒に寄り添い導き育てる ～つく指導～
- ・全教職員のプロ意識とチーム長中で行う教育活動
- ～長中プライド～

＜目標実現に向けて・・・その2＞

- ◇ 「ミドルアップダウンマネジメント」：教職員の主体的な経営参画
- ◇ 「GPDRサイクル」：目標達成に向けたジョブサイクル

GOAL (目標設定) ⇒ PREVIEW (計画・準備) ↓
 ↓ REVIEW (振り返り) ← DECISION (意思決定・覚悟)

＜重点1＞ 授業改善

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・資質・能力(3つの柱)のバランスのとれた教育活動
 - ・義務教育段階における授業スタイルの共有化(まとめと振り返り)
 - ・単元等の重点的な指導(系統表)、指導方法の工夫改善(指導の個性化)
 - ・個に応じた学習活動・学習課題の提供(学習の個性化)
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの両立(習熟度・学習形態・多様な対象)
- ② 考え、議論する「特別の教科 道徳」
 - ・学年全員による確実な授業実践の積み上げと指導力の研鑽
 - ・自己肯定感・自己有用感等を揺さぶる授業実践
 - ・地域人材、外部機関との連携による教育内容の充実、
 - ・ピア・サポートの意図的、計画的実践

- ③ 総合的な学習の時間
 - ・教科等で習得した知識や技能を活用した体験的・問題解決的学習
 - ・地域資源、地域人材を活用した学習プログラムの発掘(ふるさと学習)
 - ・主体的な課題設定、情報収集、整理・分析等の学習活動の確立
 - ・プレゼンテーションソフトを活用した学習活動(表現力育成)
- ④ 目に見える学力の一層の向上
 - ・各種調査、アンケート等の結果分析と授業改善(特別委員会)
 - ・NRT対全国平均値100以上、5段階「1・2」生徒15%以下
 - ・全国学調対全国平均値100以上、平均正答率80%以上
 - ・全国学調下位25%以下の正答率に含まれる生徒を15%以下

＜重点2＞ 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立
 - ・三原則「時間・挨拶・後始末」～時を守り・礼を正し・場を清める～
 - ・日常活動(当番・委員会等)の指導強化(凡事徹底)
 - ・日常における事故防止と危険回避能力の向上
- ② 「情と理」を基盤にした自己指導力の育成
 - ・全職員による共通理解を基盤にした効果的対応
 - ・寄り添い導き自己実現させる積極的生徒指導(個・集団)
 - ・情報モラル、薬物乱用、非行等の防止に向けた計画的指導(外部連携)
- ③ いじめ・不登校・不適応行動への対策
 - ・いじめを生まない集団風土の醸成(道徳教育・ピア・サポートなど)
 - ・校内・保護者・地域・関係機関等との密接な連携(報連相の徹底)
 - ・いじめ根絶を目指す数値目標(絶対だめ100%・解決100%)
 - ・コロナ禍での心のケア、不登校生徒への学習保障

＜重点3＞ 小中一貫教育

- ① 小中一貫推進会議の取組
 - ・系統表による重点単元の設定と小中連携した授業実践(教科部会)
 - ・小中の円滑な接続を目指した教育課程の実践と改善(特別部会)
 - ・CSとの連携、校舎改築に向けた視察研修
- ② 小中一貫合同研修
 - ・研究主題および授業スタイルを共有化した授業改善
 - ・外部講師導入による理論研修
 - ・先進校での視察研修、研究大会への積極的参加
- ③ 小中一貫教育サポート事業の活用(最終年度)
 - ・小中相互の乗り入れ授業(算数・保健体育・理科)
 - ・一貫教育先進校への視察、R5年度以降の体制確立
 - ・保護者への積極的周知(一貫だより)

＜重点4＞ ICT教育

- ① ICT機器を活用した授業改善
 - ・協働的な学びを支える活用場面の統一化
 - ・学習アプリの積極的活用による個別に最適な学びの支援
 - ・活用方法の開発による副教材購入の保護者負担軽減
- ② GIGA構想の実現
 - ・施設・設備の整備・充実
 - ・媒体所持に関わるルールづくり、保護者周知
 - ・遠隔・オンライン教育推進
- ③ 研修体制の確立
 - ・教職員のスキル向上を目指す研修体制の確立
 - ・先進校視察、外部講師招聘、研究会への積極的参加
 - ・学習用デジタル教科書実証事業への町単位の参加

＜重点5＞ 働き方改革

- ① 各種業務の見直し
 - ・業務削減・効率化を目指す人的・物的改善(ペーパーレス含)
 - ・分掌・学年部内の分担の独自性(手順標準化・業務量平準化)
 - ・部活動休養日の計画的設定、年間104日以上(原則：平日1日・週末1日)
- ② 勤務時間の管理について
 - ・校舎開錠は、通年7:30、施錠時間は、前期20:00、後期19:30
 - ・開錠、施錠時刻を15分以上越える場合(許可制・業務内容の報告)
 - ・月間45時間以内(年間360時間以内) 校長指導・具体策提示
 - ・定時退勤日(月2回)・超勤縮減週間(年2回)の実施

＜重点6＞ 今日的な教育課題への対応

- ① 円滑な学校運営に向けた校内組織再編(特別委員会等)
- ② 特別支援教育における、環境整備・指導体制・指導計画の充実
- ③ 教科関連指導の充実を目指した取組(英検・IBA・漢検・作文等)
- ④ 3年間を見通した計画的・組織的進路指導(キャリア教育)
- ⑤ 積極的な情報発信と自己評価・外部評価による学校力向上

第9回 長沼中学校入学式

4月6日(水)、本校体育館において、令和4年度長沼町立長沼中学校入学式を挙行し、87名の新入生を迎えました。今年度も感染予防措置をとった中での式となりましたが、新一年生たちは新たな中学校生活に向けた大きな希望を胸に、入学の日を迎えました。

全てが新しい発見・挑戦に満ちた日々を過ごす1年生と共に、2・3年生も先輩としての自覚を新たに持ち、何事にも意欲的に取り組んでいます。今年度も、学習・生活・部活動とあらゆる場面で躍動する生徒たちの成長を職員一同、全力でサポートしていきます。



1-A



1-B



1-C

授業参観・懇談・PTA 総会

4月9日(土)に授業参観・学年懇談会を行いました。当日は、授業参観には約160名、学年懇談会には約100名の保護者の皆様にお越しいただきました。生徒たちの活動を公開する機会が限られている中で、今回多くの保護者の皆様に参観いただき、心から感謝致します。また、今年度のPTA 総会については、紙面提案となりましたが、各家庭から頂いた承認状により、運営方針・事業計画・予算案などが承認されましたことをご報告致します。

学校・家庭・地域が共に手を取り合い、子どもたちを支えていくための活動の中心となる組織がPTAです。今後ともPTA 活動へのご理解・ご支援をお願い申し上げます。今年度のPTA 各行事・事業につきましては、PTA 会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願いいたします。拡大委員会は5月9日(月)開催予定です。

□ R4年度 PTA 役員 □

会長	■■■■	氏
副会長	■■■■	氏
//	■■■■	氏
//	■■■■	氏
監査	■■■■	氏
//	■■■■	氏
事務局長	■■■■	(教頭)
事務局員	■■■■	(主幹)
会計(一般・特別)	■■■■	(教職員)

□ R4年度 PTA 顧問 □

顧問	■■■■	氏
//	■■■■	氏

確かな学力の向上を目指して

子どもたちの「確かな学力」を育むため本校の特色ある教育の一環として、数学でT・T(ティームティーチング)及び少人数習熟度別学習を実施しています。昨年度の実施内容は以下の通りです。

- 1年生 T・T→105時間 習熟度別→105時間
- 2年生 T・T→105時間 習熟度別→106時間
- 3年生 T・T→105時間 習熟度別→105時間

※令和3年度は、合計631時間の授業を二人の教師で指導し、きめ細やかな授業実践を行い、学習を定着させました。今年度も同程度の時数確保を考えています。写真は令和4年4月21日の3年A組の数学T・Tの様子です。



